

大豆の播種時期別生育の特徴

播種時期別の開花期や生育・収量等の傾向を解析しました。

6/上播種

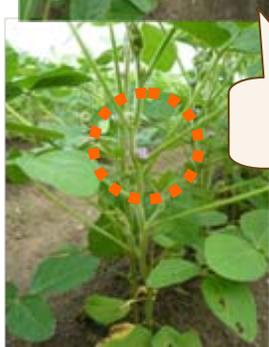
6/中播種

7/上播種



サチユタカ

薄紫色の花
が見えます

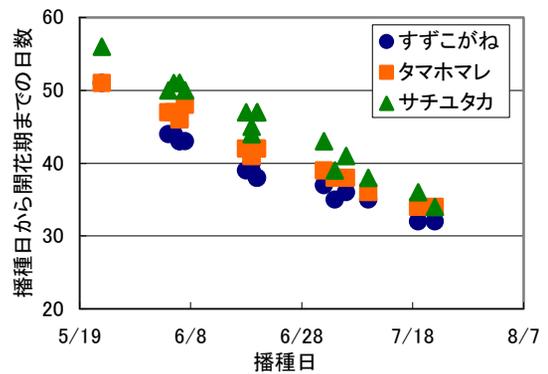
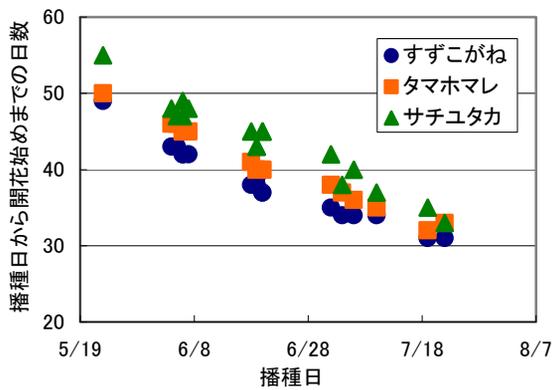


サチユタカ



すずこがね

↑ 2007年産の開花期の生育状況
(生育量が小さかったものの前年と同じ頃に開花)



播種日と播種日から開花始めまでの日数の関係
推計式

すずこがね $y = 86.14 - 0.2771x$
 タマホマレ $y = 91.261 - 0.293x$
 サチユタカ $y = 99.005 - 0.3204x$

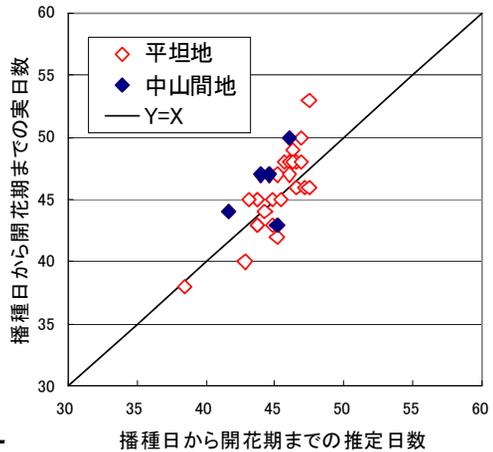
播種日と播種日から開花期までの日数の関係
推計式

すずこがね $y = 87.441 - 0.2770x$
 タマホマレ $y = 92.159 - 0.2904x$
 サチユタカ $y = 106.24 - 0.352x$

※y=播種日からの日数、x=1月1日を1日とした播種日の日数
2005~2007年の農試内ほ場データ(不耕起栽培を含む)を用いて算出

推計式により、播種時期から“開花始め”、“開花期”を推定することができ、開花後の病害虫防除や開花期畦間かん水の作業計画検討等に活用できます。

*** 推定式へのあてはめ例 ***
 84.4%の地点で実際の開花期との
 差異が±3.0日の範囲内にありました。
 [2000～2001年県内現地データ
 (32地点)を用いた場合]



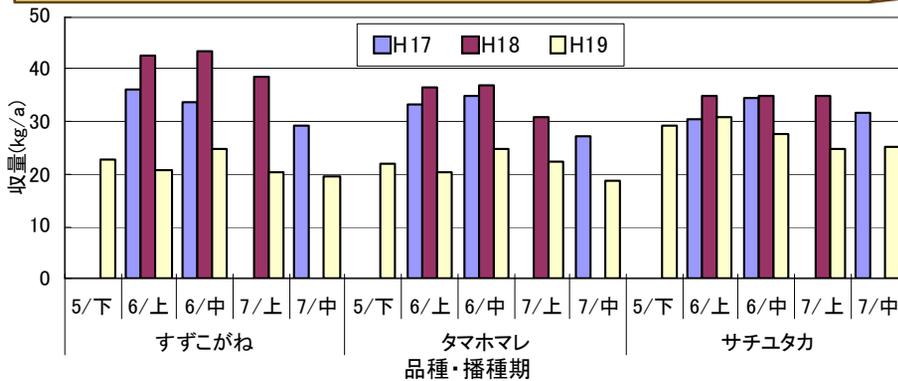
タマホマレの開花期における推計式の検証

品種別の収量(精子実重)と収量関連形質の単相関			
項目	すずこがね	タマホマレ	サチユタカ
草丈	0.90 **	0.75 **	0.80 **
主茎長	0.86 **	0.75 **	0.79 **
開花期の主茎節数	0.80 **	0.76 **	0.74 **
草姿	0.64 *	0.70 *	0.58
m ² 節数	0.76 **	0.77 **	0.73 *
個体節数	0.76 **	0.77 **	0.73 *

*** 収量と開花期生育との関係 ***
 収量は開花期の生育量(草丈、主茎長
 等)と相関が高い傾向にありました。

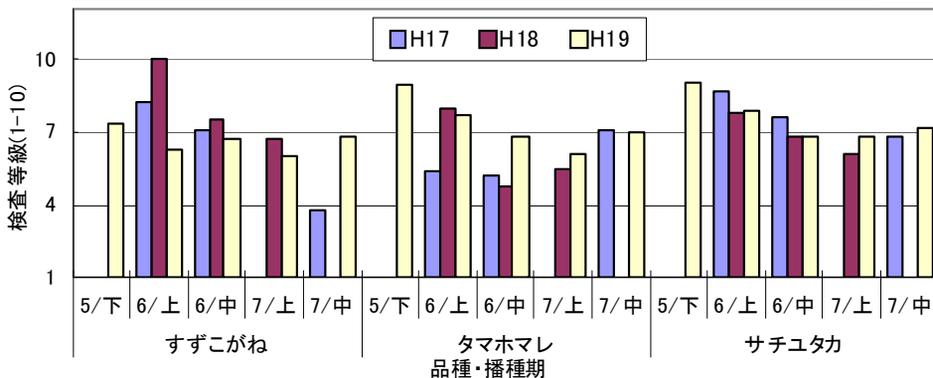
注1) 2005～2007年の農業試験場の耕起栽培による。
 (条間75cm×株間20cm、2本立て。5/下～7/下の3～5作期)
 2) 相関係数の有意性: * ;5%有意、** ;1%有意(n=11)

*** 収量 *** 年次でのばらつきがありますが、6/上～中旬
 播種がやや良い傾向が見られました。



品種別年次別作期別収量の状況

*** 品質 *** いずれの品種も2等が中心ですが、早い播種
 時期のものがやや悪い傾向にありました。



品種別年次別作期別品質の状況

注) 1～3:1等、4～6:2等、7～9:3等、10:特定加工合格